

令和 6 年度事業報告

(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日)

一般社団法人 学士会

令和6年度事業報告（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

事業概況

本年度は、ここ数年、本会にとっての最重点課題でありました学士会館の再開発事業が大きく前進した一年となりました。

本会では、平成29年度（2017年度）の事業計画において「学士会館の将来構想に関する基本的検討に着手する」旨の方針決定を行って以来、7年以上の長きに亘り学士会館の整備・再開発計画について検討を行ってきましたが、令和6年12月3日開催の臨時代議員総会において、隣地所有者である住友商事㈱と共同再開発事業を行うことを正式に決定いたしました。

この間、隣地所有者の変更等もあり、再開発を進める上で様々な困難や紆余曲折がありましたが、共同事業者である住友商事㈱の理解・協力、また、千代田区及び東京都等の担当部門の理解もあり、今回の決定に至ることが出来ました。再開発計画の進捗状況につきましては、後述の重点課題に対する取り組み結果において改めて説明いたします。

再開発事業の本格化に伴い、学士会館は令和6年12月29日をもって閉館（一時休館）いたしました。営業最終日には500名を超える会員及び近隣の皆さまに集まっていただき、閉館セレモニーを行いました。

本会の活動の全てが学士会館によって支えられてきた…、と言っても過言ではないほど、学士会館は本会にとっても、また多くの会員の皆さまにとっても大切な存在となっていました。今回の再開発により今後5年間、この学士会館が使用できない状況が続くことになります。

学士会館の閉館に伴い、従来は学士会館で開催してきた各種活動・イベント（夕食会・午餐会等）を、今後は外部施設を借りて実施せざるを得ず、参加者の皆さまにはご不便をお掛けいたしますが、一方でオンラインでの参加（同時視聴）が可能となる仕組みを導入するなど、サービスの向上にも努めております。

本年度も新入会促進のための特例措置として「学生会員向け入会キャンペーン（初年度年会費無料）」を昨年度に続き実施し、348名の新入会員を迎えることができました。本制度は一年後に会費納入を伴う正会員に移行してもらうことを目的としていますが、未だ満足いく成果へは繋がっていないのが実情です。本制度は来年度も継続する予定であり、学生会員への入会勧誘・卒業年次の学生会員への働きかけ・新入会者へのフォローアップなどの活動を継続的に行い、会員増強のサイクルが確立されるよう取り組んで参ります。

学士会館閉館に伴い、事務局及び会員倶楽部室（同好会室）は近隣のビルに移転し、令和7年4月中旬には新事務所にて活動を開始しています。新事務所への移転にあたり、会館内の設備整理（厨房機器・宿泊施設・結婚式場等）や文化財的価値のある重要物品（家具・食器・照明器具等）の仕分けを行い、約4万5千点の物品保管（倉庫寄託）を行いました。学士会館とともに約100年間、会員の皆さまに親しまれてきた名品の数々を、再開発後も再び皆さまに目にしていただけるよう心して管理して参ります。

以下、令和6年度の実施事業についてその概要を報告いたします。

令和6年度の本会は、取り組むべき重点課題として次の3点を掲げ、当該課題に対する取り組みを行うとともに、定款に掲げる各種事業を実施してきました。令和6年度の各事業の実施状況は後段にて詳述いたしますが、まずは、重点課題に対する取り組みについて報告いたします。

（１）学士会館の再開発事業の推進

本年度の最重点課題でありました「学士会館の再開発事業の推進」に関して、前述のとおり本年度は大きな前進を見ることが出来ました。

本会は、令和６年１２月３日に開催されました臨時代議員総会において、隣地所有者である住友商事㈱との共同再開発事業の実施を正式に決定いたしました。

各課題に対する具体的成果について、次のとおり報告いたします。

□事業資金の調達について

本会にとって大きな課題の一つでした事業資金の調達に関し、住友商事㈱からの提案を受け、今回の事業スキームを共同事業方式から等価交換事業方式に変更することにより、事業資金の調達に目途を付けることが出来ました（詳細は令和６年１２月３日の臨時代議員総会にて報告済み）。

□千代田区及び東京都との行政協議について

- ・本事業を実現させる上で不可欠でした東側区道の廃道について、令和６年１２月３日開催の千代田区議会において廃道決議が行われ、もう一つの大きな課題が解決しました。令和７年２月２５日には区道が閉鎖されています。
- ・東京都との行政協議において「総合設計制度」の適用認可や、東京都に無償譲渡する白山通り側の用地（都市計画道路部分）の道路指定に関して、概ねの了解・前進が図られ、各種行政協議も順調に進展しています。

□学士会館の文化財指定について

令和７年３月２６日に学士会館（旧館）が東京都教育委員会から「東京都指定有形文化財」として指定され、本事業を進める上での前提の一つが解決いたしました。

□新事務所への移転について

住友商事㈱の協力により、近隣の同社所有ビル（千代田区一ツ橋１－２－２ 住友商事竹橋ビル２階）に２００坪強の事務所スペースを確保しました。用途としては事務局・同好会室・内部会議室等となり、限られた用途及び利用可能者とはなりますが、４月中旬には移転が完了し新事務所にて業務を開始しています。

□学士会館（新館）の解体準備について

学士会館の解体について、解体費用及びスケジュール等も確定し、令和７年６月２日には解体工事施工者である鹿島建設㈱に建物を引き渡すとともに、同年７月からは学士会館新館の解体工事も始まり、いよいよ学士会館の再開発が本格的にスタートすることになります。

（２）会館再開発中及び再開発後の学士会事業・会員サービスについての検討・試行実施

学士会館の年内閉館（一時休館）を踏まえ、学士会館の文化財的価値の再認識や解体前の学士会館の実物見物等を目的とした特別イベント（「感謝の集い」や「会館見学会（ナイトツアーを含む）」）を企画・実施しました。

また、歴史的建造物であり文化財でもある学士会館の歴史、記録、記憶の継承・保存のための施策として「学士会館デジタルアーカイブ」を制作し、３６０度動画やバーチャルツアーといったＶＲ（ヴァーチャル・リアリティ）コンテンツにより、デジタル上で、学士会館を体感できるようになりました。本会ホームページにて公開していますので、是非ご覧いただきご活用ください。

その他、学士会館に依存しない会員サービスとして、会館外での見学会及び体験会の企画・実施や、新規企画の検討の一環として、TEDxを参考にしたプレゼンテーション型イベント（「学士会スーパープレゼンテーション」）を企画・開催しました。

デジタル化による会員サービスの充実化については、従来、学士会館で開催していた夕食会・午餐会に代わる講演会を、オンラインによる同時視聴も可能となるよう「ハイブリッド講演会」として、遠隔の会員の皆さまも参加が可能となる方式に改めました。

上記イベントの詳細は後述の「講演会、交流会、その他の活動」の欄をご覧ください。

令和7年度以降、本会は5年以上に亘り学士会館不在の中での活動を余儀なくされることとなります。キャンペーン入会者の会員継続及び次世代の入会予備群である学生会員に向けた施策の企画・検討を行い、学士会館に頼らないサービスの確立とともに引き続き会員増強に努めて参ります。

(3) 閉館を見据えての学士会館の円滑な運営及び適切な対応

再開発事業の本格化に伴い、学士会館は令和6年12月29日をもって閉館（一時休館）いたしました。

学士会館の運営は本会の100%子会社である(株)学士会館精養軒が担っておりますが、閉館を前にした人手不足や閉館に伴う雇用不安（閉館後の整理解雇）にもかかわらず、同社スタッフによる変わらぬ営業努力の結果、一部、営業範囲の縮小等もありましたが、大きなトラブルもなく、閉館前の1カ月は事前予約も出来ないほどの盛況・賑わいの中で学士会館は無事最終日を迎えることが出来ました。

最終日には500名を超える会員及び近隣の皆さまに集まっていただき、温かな声援に囲まれながら閉館のセレモニーを行うことが出来ました。

以下、各事業別にその概要を報告いたします。

1. 会 報 （『學士會会報』及び『NU7』）

本会会報である『學士會会報』と『NU7』を隔月に同時発行しました。『學士會会報』は第96号を令和6年5月、第967号を7月、第968号を9月、第969号を11月、第970号を令和7年1月、第971号を3月にそれぞれ発行し、全会員に配布しました。また、『學士會会報』は七大学各学部図書館に寄贈する他、国立国会図書館や各県立図書館等へも毎号寄贈し、本会の目的でもある“学術的文化的知識の交流普及”に努めました。

また、七大学総合情報誌として平成27年9月より発行している『NU7』は、令和5年9月よりWeb化を行い、本会ホームページにて公開しています。本年度は、第53号を令和6年5月、第54号を7月、第55号を9月、第56号を11月、第57号を令和7年1月、第58号を3月に公開しました。

その他、学生会員向けサービスの一環として、希望する学生会員約300名に『學士會会報』を配布しました。

2. 学 士 会 館

(1) 会館の利用実績（4月～12月までの9カ月実績）は次のとおりです。

□会議室利用回数	3,006回（4,384回）	*カッコ内は前年度実績
□会議室利用人員	78,203名（110,589名）	※延べ人数 計 164,902名 [1日平均604名] ※稼働日は273日
□宿泊室利用人員	6,433名（8,750名）	
□レストラン等利用人員	68,374名（97,909名）	
□読書室利用会員	1,157名（1,724名）	
□会員倶楽部室利用会員	7,729名（10,822名）	

(2) 会館を適切に維持・保全するために、次のとおり会館の補修・改修工事を行いました。

本年度は、再開発のため令和6年12月末の閉館が決まっていたことを踏まえて、投資目的となる改修工事の実施は見送り、会館営業に必要な最小限の諸工事を次のとおり実施しました。

- ・「エスカレーター」修理工事
- ・「駐車場 身障者トイレ自動扉」修理工事
- ・「新館1階フロント 空調機」修理工事
- ・「新館および旧館の外壁タイル」落下防止ネット設置工事
(新館外壁タイル剥落に伴う緊急工事)

その他、会館営業に支障をきたす箇所に対して適宜補修工事を実施しました。

3. 講演会、交流会、その他の活動

本年度は、新館等解体前の学士会館を利用出来る最後の年となるため、定例の「夕食会・午餐会」に加え、各種イベントもその多くを学士会館において開催しました。

(1) 夕食会

本年度は、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を学士会館閉館の12月まで、次のとおり開催(5月、8月は例年どおり休会)し、延べ1,088名の参加がありました。

「後悔しない死に方」	久坂部	羊 氏	(令和6年 4月例会)
「小型月着陸実証機「SLIM」の月面着陸とその成果」	坂 井	真一郎 氏	(令和6年 6月例会)
「ロシア・ウクライナ戦争と日本の安全保障」	小 泉	悠 氏	(令和6年 7月例会)
「政局の行方と政治のあるべき姿」	前 田	浩 智 氏	(令和6年 9月例会)
「レーザーフュージョンエネルギーの新潮流」	藤 岡	慎 介 氏	(令和6年10月例会)
「2型糖尿病の成因と治療の最前線」	門 脇	孝 氏	(令和6年11月例会)
「多様性の海へ：対話が創造する未来」	藤 井	輝 夫 氏	(令和6年12月例会)

(2) 午餐会

本年度は、夕食会と同様に各分野で活躍される多彩な方々による講演会を11月まで、次のとおり開催(8月、12月は例年どおり休会)し、延べ813名の参加がありました。

「日本における臓器移植の現状と課題—心臓移植を中心に」	小 野	稔 氏	(令和6年 4月例会)
「国際リニアコライダーの詳細とその学術的意義—この宇宙を創った真空—」	浅 井	祥 仁 氏	(令和6年 5月例会)
「自己を見つめる—法然思想の根幹」	伊 藤	真 宏 氏	(令和6年 6月例会)
「日本紙幣の肖像・デザインを巡る物語」	植 村	峻 氏	(令和6年 7月例会)
「電離層異常検知による大地震発生1時間前予測の可能性」	梅 野	健 氏	(令和6年 9月例会)
「皇居三の丸尚蔵館—皇室が守り伝えた日本の美」	島 谷	弘 幸 氏	(令和6年10月例会)
「国際情勢と日本」	杉 山	晋 輔 氏	(令和6年11月例会)

(3) 関西茶話会

関西地区の会員及び学生会員を対象とした関西茶話会を、本年度も引き続き講演会のみに変更して次のとおり開催し、延べ105名の参加がありました。

第54回「紫式部の人と思想」 山本 淳子 氏（令和6年 4月20日）

第55回「歩くとは？－不安定性から読み解く歩行の原理－」

青井 伸也 氏（令和6年 6月 8日）

第56回「野生動物保全ラボの挑戦」 村山 美穂 氏（令和6年10月19日）

第57回「9世紀後半の危機と現代日本－疫病、自然災害、地球温暖化、都市問題、排外主義－」

市 大樹 氏（令和7年 2月15日）

(4) ハイブリッド講演会

学士会館閉館に伴い、定例の「夕食会・午餐会」に代わる講演会として、食事提供の無いハイブリッド形式（来場＋オンライン）の講演会を、次のとおり昼と夜の時間帯に分けて「一橋大学一橋講堂（中会議場3・4）」において開催（1月夜は休会）し、延べ257名（うちオンライン80名）の参加がありました。

「蔦屋重三郎の仕事」 鈴木 俊幸 氏（令和7年1月昼講演会）

「難局打開への提案」 野田 毅 氏（令和7年2月夜講演会）

「世界遺産 佐渡島の金山－その歴史と史跡・文化財－」

坂井 秀弥 氏（令和7年2月昼講演会）

「難治性がんを標的とした新たな治療戦略の開発」

中山 敬一 氏（令和7年3月夜講演会）

「温故知新で南海トラフ地震に備える」 福和 伸夫 氏（令和7年3月昼講演会）

(5) 地域講演会

本年度は、北海道地区および名古屋地区において開催しました。

□北海道講演会

共催 学士会、北海道大学校友会エルム

後援 北海道大学

「“黒部ダム”建設に学ぶリーダーのあり方」

大田 弘 氏（令和6年10月26日）

（参加者：135名）

□名古屋講演会

共催 学士会、名古屋大学全学同窓会

後援 名古屋大学

「名古屋大学での学びが、こんなに役立った」

佐々木 一郎 氏（令和7年 1月10日）

（参加者：80名）

(6) クリスマス家族会

本年度は令和6年12月21日に開催し、(株)学士会館精養軒特製フルコースと、マジシャンSOUによる催し「サウンドアクト&マジックショー」を堪能しました。昭和4年から続いてきた「クリスマス家族会」は、会場の学士会館202号室に雪が降るマジックショーのフィナーレと

ともに、いったん幕が下ろされました。373名の参加がありました。

(7) 新年祝賀会

本年度は令和7年1月8日に開催し、「一橋大学一橋講堂（中会議場）」において、樺山紘一学士会理事長の新年の挨拶の後、前理事長の佐々木毅氏（日本学士院長／元東京大学総長）による講演会（演題：「民主政の現在」）及び立食形式の懇親会を行いました。47名の参加がありました。

(8) プレゼンテーション型イベント

本年度は新規会員サービス企画として、TEDxを参考にしたプレゼンテーション型イベント「学士会スーパープレゼンテーション」を、令和6年11月3日に開催しました。会員の推薦により選ばれた6名によるプレゼンテーションはオンライン（YouTube）配信も併用し、136名（うちオンライン82名）の参加がありました。

＜プレゼンテーション内容（登壇順）＞

「ウマの社会からヒトの社会を考える」	前 田 玉 青 氏
「社会保障制度改革の具体案」	東 徹 氏
「生と死と愛」	小 川 侃 氏
「美術を理解する基礎教養～浮世絵が印象派を生んだ」	岩 佐 倫太郎 氏
「新しいコミュニティのあり方を難病になった経験から考える」	大 島 なつめ 氏
「AI法廷の模擬裁判はどのように生まれ、どのように眼差されたか？」	岡 本 隼 一 氏

(9) 七大学との合同セミナー

本年度は次のとおり、七大学と合同で遺贈寄付セミナー（個別相談会付き）を開催し、38名の参加がありました。

□七大学・学士会合同遺贈寄付セミナー「あなたの想いが未来をつくる」～大学への遺贈寄付～
三 浦 美 樹 氏（令和6年 9月13日）

(10) 若手茶話会

45歳までの会員を対象とした茶話会（「ミニプレゼン会」「読書会」）を、若手会員の集まりである「学士会YELL（Youth Experts for Liberal arts and Leadership）」が主体となり、毎月開催しました。ハイブリッド形式（学士会館＋オンライン）も導入し、延べ183名の参加がありました。

＜実施内容の一例＞

□ミニプレゼン会（ハイブリッド開催）

「炎上を乗り越え、良い評判をつくるために何をすべきか？」

西 山 守 氏（令和6年 9月28日）

□ミニプレゼン会（オンライン（Zoom）開催）

「失敗を減らそう！」

事前を知っておきたいサブスク（SaaS/ストック/リカーリング）ビジネスの注意点」

藤 原 大 豊 氏（令和7年 3月29日）

(11) ミニプレゼン会特別会

新卒入会した会員や有資格者の体験の場として、ミニプレゼン会特別会を学士会YELLと共催で開催しました。オンライン（Zoom）も併用し、延べ137名の参加がありました。

「“Life Design Meetup 2024”『誰も教えてくれないコンディショニング』
～最高のパフォーマンスと充実のプライベートへの秘訣について語ろう！～」

佐 上 徹 氏（令和6年 7月26日・10月18日）

「学者がみつけた「落とし穴」—それってあなたの思い込みですよ」

舟 津 昌 平 氏・加 藤 雅 俊 氏・中 原 翔 氏（令和6年 9月16日）

(12) Web交流会

Web会議システム（Zoom）の体験会から派生した、会員同士で談話をする「Web交流会」を計24回開催しました。各回トークテーマを設けると共に、読書会「90分 de 『學士會会報』」、メタバースの体験活動「1クールメタバース」を3カ月の期間限定で実施するなど、延べ187名の参加がありました。

(13) 見学会

本年度は次のとおり、見学会を開催しました。

[関東地区]

□古写真と巡る神田ツアー（令和6年 6月 1日）

日本カメラ博物館 古写真研究員の井桜直美氏を講師に、古写真に写る神田地区（一ツ橋、田安門、ニコライ堂、湯島聖堂、神田明神など）を巡り、時代の移り変わりを体感しました。22名の参加がありました。

□学士会館 魅惑のナイトツアー（令和6年12月12日）

学士会館営業終了後の21時、抽選倍率5倍超えを突破した参加者29名が集合し、数多くのテレビドラマや映画のロケ地に使われた会場や、関係者以外立ち入り禁止エリアに潜入し、閉館目の学士会館を存分に味わいました。

[関西地区]

□京都大学 清風荘（旧西園寺公望邸）見学会（令和6年 5月25日）

京都大学所有で国の重要文化財に指定されている通常非公開の旧西園寺公望邸「清風荘」（京都市）と、七代目小川治兵衛の庭園を楽しみました。40名の参加がありました。

(14) 体験イベント

本年度は次のとおり、各分野で活躍されている方々を講師に迎え体験イベントを開催しました。

□芸術のまち金沢にて 金工作家 織田隼生氏のアトリエ見学・体験会

（令和6年 7月13日）

今、最も注目を集める若手金工作家の一人、織田隼生氏のアトリエを会場に、数式を用いて作品を生み出す制作技法の解説や実演、さらには織田氏直々の指導による制作体験を行いました。金沢での開催にもかかわらず東京や仙台、神戸から定員を超える9名の参加がありました。

□東大レゴ部に学ぶ レゴの極意と制作体験（令和6年 8月24日）

「第97回五月祭総選挙」において展示部門第1位に輝いた東大レゴ部の部長、他2名に

よる直々のレクチャーで、参加者全員がレゴのショートケーキを制作しました。応募者多数のため増席し、34名の参加がありました。

また、東大レゴ部には、再開発に伴い新館部分が取り壊されてしまう学士会館の再開発前の姿を保存すべく、3,775ピースの「レゴ学士会館」を制作してもらいました。完成した作品は、令和6年11月22日に開幕した東京大学の学園祭「第75回駒場祭」にて初お披露目となりました。

□五輪メダリストに学ぶシニア向け簡単筋トレ教室 (令和6年 9月14日)

椅子やペットボトル、タオルといった身近なものを使った筋力トレーニング法や、正しいスクワットのやり方などを、2000年シドニー五輪レスリング銀メダリストの永田克彦氏に指導してもらいました。永田氏のご厚意により、本物の五輪メダルに触れる機会もありました。15名の参加がありました。

□癒しの音色 ライアー（竖琴）体験会 in 学士会館チャペル (令和6年11月30日)

これまでに560回の公演を数えるライアーアンサンブル「つくばライアーの響き」の芝山恭子代表及び主力メンバー5名から、美しく繊細な音色を持つ弦楽器ライアーについてその歴史や弾き方などを学びました。性別問わず幅広い世代から、満席となる20名の参加がありました。

□能楽体験会 (令和6年12月14日)

築約100年の貴重な大江能楽堂にて、室町時代から続く能楽の歴史や能舞台についての解説を聞いた後、全員で仕舞の型を習い、最後には代表者が実際に能舞台に上がって能面を着けるといった体験会を行いました。31名の参加がありました。

(15) 良縁イベント

24歳～35歳の独身者（会員及び会員家族）に参加者を限定した良縁イベント「1対1良縁パーティー」を令和6年10月26日に開催し、男女各12名が、事前に記入したプロフィールをもとに交流しました。今回も募集開始早々に満席となり、キャンセル待ちも多数発生しました。

(16) 学士会フェスタ

令和6年9月1日、天候不順の中、第2回学士会フェスタを開催しました。本会公認同好会（撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語、探訪、謡曲、美術鑑賞、オンライン交流）を中心に、会員有志、北海道大学同窓会、東京大学、名古屋大学全学同窓会関東支部、本会提携企業等42の団体等が参画し、講演会、体験会、展示・物販に加え、ヨガ、書道体験や合唱を行いました。オンラインも併用し、431名の参加がありました。

(17) 学士会館再開発決定記念特別イベント

学士会館再開発事業決定にあたり、閉館前後に会員限定の特別イベントを次のとおり開催しました。

□学士会館閉館前感謝イベント～これまでの学士会館・これからの学士会館

(令和6年12月15日)

再開発委員会の下部組織である「建築部会」のお二人による講演会の後、晚餐会では、(株)学士会館精養軒特製フルコースを楽しみました。135名の参加がありました。

<講演会内容>

「学士会館の見どころと建築史的価値」

藤 岡 洋 保 氏

「これからの学士会館 ―旧館を活かした再開発へ」

西 村 幸 夫 氏

□謝恩頒布会

(令和7年 1月25日・26日)

学士会館を彩った家具・備品・食器等を無料配布し、約300名の参加がありました。

□学士会館閉館後特別イベント 最後の学士会館見学会 (令和7年 1月28日・31日)

学士会館の文化財的価値について調査を依頼した(株)文化財保存計画協会研究員である岡健司氏の説明とともに、閉館後の学士会館内を巡りました。75名の参加がありました。

(18) 学士会館クロージングセレモニー

令和6年12月29日、学士会館新館玄関前において、学士会館クロージングセレモニーを行いました。樺山紘一学士会理事長、小堀康生(株)学士会館精養軒代表取締役社長の挨拶のあと、餅まきや、前田智彦錦町三丁目町会長による木遣りが行われ、最後は伝統的な神田一本締めで締めくくりました。当日は、会員及び近隣より約500名が集まりました。

(19) 同好会支援

令和6年4月に新たに公認同好会に認定された「Webサロン」の他、例年どおり、撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語、探訪、謡曲、美術鑑賞の各公認同好会及び「サクラ会」(女性会員有志の会)の開催を支援しました。

(20) 提携サービス紹介

提携企業が会員向けに提供する各種サービス(引越し、ホームセキュリティ、スポーツクラブ等)について、延べ200名の利用がありました。また、音楽・演劇・舞踊などの舞台芸術に関して一般販売では入手困難な良席を特別価格にて提供している「鑑賞ツアー」については、延べ1,800名の利用がありました。

4. 諸 会 議 等

(1) 通常代議員総会

本年度の通常代議員総会を、令和6年6月13日、学士会館において開催しました。当日の出席代議員51名、書面等による議決権行使代議員46名、合計97名の出席により総会が成立し、次の議案を諮りそれぞれ承認可決いたしました。

議案1 令和5年度事業報告並びに決算報告について

議案2 任期満了に伴う理事12名の選任について

議案3 任期満了に伴う監事2名の選任について

議案4 学士会館の共同再開発の進捗状況について

議案5 学士会選挙管理委員会委員の推薦について

(2) 臨時代議員総会

本年度、臨時代議員総会を次のとおり、開催しました。

□令和6年12月臨時代議員総会

令和6年12月3日、学士会館において開催しました。当日の出席代議員53名、書面等による議決権行使代議員36名、合計89名の出席により総会が成立し、次の議案を諮り承認可決いたしました。

議案1 学士会館の共同再開発事業の実施について

□令和6年度臨時代議員総会

令和7年3月13日、如水会館において開催しました。当日の出席代議員48名、書面等による議決権行使代議員44名、合計92名の出席により総会が成立し、次の議案を諮り承認可決いたしました。

議案1 令和7年度（2025年度）事業計画案及び予算案について

報告1 学士会館の共同再開発事業の進捗状況について

（3）理 事 会

本年度は次のとおり開催し、諸般の会務について審議決定いたしました。

□4月理事会（令和6年 4月25日）

1. 代議員選挙の実施に向けての「代議員選挙規則」の一部改定について
2. 令和6年度通常代議員総会の開催について
3. 令和5年度決算概要について 併せ、㈱学士会館精養軒の決算概要について
4. 学士会館の共同再開発に関する進捗状況について
5. 学士会館の共同再開発に関する「評価委員会」の設置について

報告（1）新卒業学士等の入会状況について

（2）令和6年度期首会員数及び令和5年度の会員数動向について

□5月理事会（令和6年 5月23日）

1. 令和6年度通常代議員総会の議案について
2. ㈱学士会館精養軒の第73期定期株主総会議案について

□6月理事会（令和6年 6月13日）

報告（1）新館西側（5階）タイル剥落事故の対応について

報告（2）㈱学士会館精養軒の労務問題—閉館に伴う組合要求等—

報告（3）（本日開催）通常代議員総会について

□6月理事会（令和6年 6月13日—通常代議員総会后）

1. （定款第27条第2項に基づく）理事長の選任について
2. （ ” ） 副理事長及び常務理事の選任について
3. 会報編集委員会委員等、各委員会委員の選任について

□7月理事会（令和6年 7月18日）

1. 令和6年度・第一四半期（4月～6月）会計報告

①（一社）学士会 ②㈱学士会館精養軒

2. 学士会館の共同再開発の進捗状況について

3. 第5期代議員（任期：2025. 4～2028. 3）選出に向けた選任手続き及びスケジュールについて（確認）

- 報告（１）第６３回全国七大学総合体育大会（七大戦）の開会式について
（２）令和６年度第一四半期（４月～６月）の会員数動向等について
（３）令和６年度後半の理事会等の日程確認について

□ ９月理事会（令和６年 ９月２６日）

- １． 学士会館の共同再開発の進捗状況について
—資金調達のための持分売却交渉状況及び今後の進め方等—
- ２． （共同再開発事業実施に向けての）臨時代議員総会の開催について
- ３． 「特定資産」区分の見直しについて
- ４． 第５期代議員選出に向けての「選挙区別・選挙区委員会委員」の選任について

報告（１）第１回選挙管理委員会開催報告

報告（２）第６３回「七大戦」の戦績結果及び閉会式について

□ １０月理事会（令和６年１０月２４日）

- １． 令和６年度上半期決算報告及び令和６年度上半期資金運用状況報告
並びに下半期運用計画（案）について—併せ㈱学士会館精養軒の令和６年度上半期決算
報告—
- ２． 学士会館の共同再開発事業の進捗状況について
- ３． 学士会館の共同再開発事業の実施について—１２月３日開催「臨時代議員総会」議案—
報告（１）令和６年度上半期会員数動向（正会員・学生会員・準会員）

□ １１月理事会（令和６年１１月２８日）

- １． 学士会館の共同再開発事業の進捗状況について—報告—
 - ２． １２月３日開催臨時代議員総会議案について—確認—
 - ３． 令和６年度臨時代議員総会の開催について（令和７年３月開催予定）
 - ４． 令和７年度（２０２５年度）理事会等の会議日程について
- 報告（１）第５期代議員の選出状況について
報告（２）七大学総長懇談会の開催について
報告（３）「北海道講演会」の開催報告

□ １月理事会（令和７年 １月２３日）

- １． 学士会館の共同再開発事業の進捗状況について—報告・確認—
 - ２． 令和６年度臨時代議員総会（３／１３開催）議題について
 - ３． 令和６年度（４月～１２月累計）㈱学士会館精養軒の会計報告
及び再開発期間中の㈱学士会館精養軒の扱いについて
 - ４． 令和７年度予算（案）作成について
 - ５． 会報編集委員会委員の追加選任について
- 報告（１）第５期代議員の選出状況について
報告（２）令和６年度第３四半期の会員数増減について

□ ２月理事会（令和７年 ２月２７日）

- １． 「共同ビル」（「旧館」＋新規ビル）の建築費等に関する「概算見積額」の提示について
—確認—
- ２． 学士会館（「新館」他）の解体工事の発注について
- ３． 令和６年度臨時代議員総会議案について

4. 住友商事㈱との「事業協定書（案）」の締結協議について

□ 3月理事会（令和7年 3月13日）

1. 第4期退任代議員に対する「名誉代議員証」の付与について
報告（1）（本日開催）臨時代議員総会について

（4）監 事 会

1. 監査法人からの報告
2. 令和5年度決算報告（令和5年4月1日～令和6年3月31日）
令和5年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の検査
3. 「公益目的支出計画実施報告書」の内容について
4. 代議員総会第3号議案（任期満了に伴う監事2名の選任）について

（5）常 務 会

毎月定期的に常務会を開催し、理事会提出議案の審議等、種々の会務を審議し必要事項を決定いたしました。

（6）諸 委 員 会

ア. 会報編集委員会

本年度は次のとおり開催し、種々検討・協議の上、各号の執筆候補者及び講演会（夕食会・午餐会等）講師の選定・決定を行いました。

- | | | | |
|-------|------|--------|---------|
| 第 1 回 | 令和6年 | 5月23日 | 会報第969号 |
| 第 2 回 | 令和6年 | 7月18日 | 会報第970号 |
| 第 3 回 | 令和6年 | 9月26日 | 会報第971号 |
| 第 4 回 | 令和6年 | 11月28日 | 会報第972号 |
| 第 5 回 | 令和7年 | 1月23日 | 会報第973号 |
| 第 6 回 | 令和7年 | 3月13日 | 会報第974号 |

イ. 会員サービス高度化委員会

本年度は次のとおり開催し、学士会館閉館中及び再開発後に向けた新たな学士会事業・サービスの展開について協議を行いました。

第 6 回 令和6年 6月25日

加えて、新規イベントの企画実施のため委員会の下に組成された「新規イベント運営専門委員会」を4月～10月まで月1回開催し、プレゼンテーション型イベント（「学士会プレゼンテーション」）実施に向けて協議を行いました。

『NU7』については、編集担当委員による内容確認の上で、隔月で本会ホームページに公開しています。

ウ. 学士会館再開発委員会

本年度は次のとおり開催し、隣地所有者との共同開発の「基本協定」締結に向けた検討協議や、再開発に関する課題について具体的な検討を行いました。

- | | | |
|------|------|-------|
| 第39回 | 令和6年 | 4月25日 |
| 第40回 | 令和6年 | 5月23日 |

第41回 令和6年 7月18日

第42回 令和6年10月24日

第43回 令和7年 2月27日

「学士会館再開発委員会」にあわせ、西村幸夫再開発委員会委員を中心に「再開発推進会議」を隔週開催し（第44回～第67回）、主に旧館保存の設計や全体計画、行政協議の進捗等に関する課題について協議を行いました。

また、再開発委員会の下部組織であり、建築史・都市計画・建築意匠面等の専門委員で構成される「建築部会」は、本年度も2回開催し再開発基本計画・基本設計（景観計画を含む）に関する協議を行いました。

加えて、学士会館の文化財指定に向け「文化財保存活用に関する検討委員会」を2回開催し、学士会館の文化財保存活用計画の作成に関する課題整理と協議を行いました。これらの取り組みもあり、学士会館は令和7年3月26日に「東京都指定有形文化財」に指定されました。

エ. 趣味同好会

令和6年12月2日、撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語、探訪、謡曲、美術鑑賞、オンライン交流の各同好会の年間優秀会員もしくは功労会員に対し理事長杯を授与し、その後、懇親会を開催し懇談を行いました。

5. 会 員

本年度における正会員の増減及び年度末正会員数は次のとおりです。＊カッコ内は前年度実績

新 会 員	748名	(869名)
逝 去 会 員	678名	(635名)
退 会 会 員	1, 536名	(1, 009名)
会費長期未納退会者	192名	(245名)
差 引 減	1, 658名	(1, 020名)
現 在 会 員 数	35, 837名	(内 終身会員6, 983名)

(注:「終身会員」の内、戦前に制定された終身会員制度による加入者が216名、平成21年度より新たに制度化された「新終身会員」が6, 767名になります)

学 生 会 員 5, 181名

(注: 3月卒業・修了予定の1, 712名を含めた会員数になります)

6. そ の 他

本会は、(株)学士会館精養軒に学士会館の運營業務を委託していますが、平成16年2月以降、本会が同社の株式を100%保有しています。同社の概要は次のとおりです。

[株式会社 学士会館精養軒の概要] (令和7年3月31日現在)

□名 称	株式会社学士会館精養軒
□所 在	東京都千代田区神田錦町3-28
□代表者	代表取締役社長 小堀 康生
□資本金	10, 000千円
□売上高	926, 504千円 (令和6年度決算)

(株)学士会館精養軒の令和6年度の営業結果は、次のとおりです。

□令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）決算

・売上高 926,504千円（前年度： 1,321,282千円）

・営業利益 ▲224,750千円（同： 132,596千円）

・経常利益 ▲157,309千円（同： 133,812千円）

（注：学士会館の営業は令和6年12月29日をもって終了したため、売上高は4月～12月までの9カ月間の実績です。尚、同社は令和7年1月末日をもって全従業員の整理解雇を行い、4月以降は事業活動を伴わない実質的な休眠会社となっています）